

令和2年9月1日発行

(2ヶ月に一度発行します。)

医療法人創起会くまもと森都総合病院外来広報誌について

- ・当院では、広報活動のひとつとして外来などに来院された患者さん、ご家族の皆様幅広く当院の情報や医療の情報などについてお知らせするため、本誌を発刊いたしております。
- お気軽にお取りいただき、御拝読いただければと考えております。



当院の臨床検査科をご紹介します！

～新型コロナウイルスの「抗原検査」と「PCR検査」について～

	抗原検査	PCR検査
調べるもの	ウイルスを特徴づけるタンパク質 (=抗原)	ウイルスを特徴づける遺伝子配列 (タンパク質よりずっと小さい)
精度	一定量のウイルス量が必要	抗原検査よりも少ないウイルス量でも検出できる
検査実施場所	医療施設で実施可能	検体を検査機関または保健所に搬送して実施
判定時間	約30分	検体搬送時間+測定時間 (数時間)

どちらも間接的にウイルスを証明する方法ですが、抗原検査はPCR検査に比べ①ウイルス量が多くないと陽性にならない、②短時間で結果がわかる、という特徴があります。ですので、抗原検査で陰性であってもPCR検査では陽性ということが起こり得ます。

	鼻咽頭ぬぐい液	唾液
抗原検査	患者さんへの侵襲あり医療従事者への感染リスクも伴う 検査感度がPCRに劣る	患者さんへの侵襲が少なく医療従事者への感染リスクも低い 検査感度が最も低い
PCR検査	患者さんへの侵襲大きく医療従事者への感染リスクも伴う 検査感度が最も良い	患者さんへの侵襲が少なく医療従事者への感染リスクも低い 検査感度が鼻咽頭に劣る

検査には、もっともらしい顔をして嘘をつく「偽陰性 (疾患があるにもかかわらず検査が陰性となる)」の可能性があると特徴があります。“感度”という表現が用いられますが、PCR検査の感度は70%程度 (約3割の感染者は偽陰性になり得る) と言われています。

医師が必要と判断した場合、誰でも検査を受けることができます。医師は感度や検体種の違いによるメリット・デメリットを理解したうえで、現在の患者さんに最も適切と思われる方法で検査を実施します。どのような症状があるか、それはいつ頃からか、周囲に同様な症状を訴えている人がいないか、など些細なことでも医師へ相談してください。



中秋の名月について

今回は中秋の名月について述べさせていただきます。

中秋（旧暦8月）にお月見を行うのは何故でしょうか。一節によりますと、夏の作物の収穫も殆ど終わり、稲刈りをするまでの手が空く時期に、稲の豊作を祈り祭りを行った事が起源とされています。また、稲の豊作祈願ではなくもともとは芋類の収穫祭、畑作儀礼だったと考えられてもいます。中国からの渡来説も有力です。古来中国では「望月（月を見る催し）」という行事があり、それが遣唐使によって伝えられたものが日本に広がっていったという説もあります。

日本で一番最初の「お月見」は909年、今から1111年も前に醍醐天皇が月見の宴を開いたといわれています。ところで、名字が「八月十五日」と書いてなんと読みますか。

「なかあき」とさんとお呼びするそうです。中秋ということから来ているようです。



頭の体操コーナー

- ここからは頭の体操を行うコーナーです、是非参加してみてください。

（初級編）

- 1、貝は貝でも、お風呂に入っている貝ってどんなカイですか？
- 2、冷蔵庫の中に動物が入っています何でしょうか？

（中級編）

- 1、よんでもよんでも返事をしないもの何ですか？
- 2、こいでもこいでも同じところを行ったり来たりする乗り物は何ですか？
- 3、大きくなるほど小さくなるものは何ですか？

- 初級編、中級編と回答できましたでしょうか。

回答は本誌の下の方にありますのでご覧ください。

解答（初級編1 暖かい、初級編2 そう、中級編1 本、中級編2 ブランコ、中級編3 洋服）